



Interview  
No. 7  
ゲストハウスnatomi宿  
空き家を活用し交流の場に

# 築約85年の 空き家を活用し、 旅人や地域の方の 交流の場に

Interview  
No. 7

良いということです。宿泊者が電車で降りて歩いて来ることができる場所、気軽に旅人に寄ってもらえるような場所が理想でした。この場所は近鉄南生駒駅に近く、築約85年の古民家の雰囲気、間取りなども私たちの理想にマッチしていて、見学会から2ヶ月後の活用プランにエントリーしました。エントリーは私たちを含めて5組で、まずはそのうち3組が活用候補者として選ばれ、その後「マッチングパーティー」で家主の下西啓次さん・美和さん夫妻に最終プレゼンテーションを行い、私たちを選んでいただきました。他の候補者の方の活用案も建物にとってもマッチしていたので、名前を呼ばれた時は嬉しくて涙がとまりませんでした。その後はゲストハウス開業に向けた準備がスタート。2024年6月には法人「合同会社 natomi」を設立しました。「natomi」は私たち姉妹のそれぞれの頭文字から取っています。



く、お互いの人柄や活用方法を理解したうえで、物件を貸し借りすることが特徴です。下西さんにお話をうかがうと、この家は元鉄工所で、家族だけでなく近所の人も集まる場所だったそうです。私たちも地域の人と交流できる場所として、ゲストハウスだけではなく、レンタルスペースとして昼間は開放したり、金・土曜日の夜には居酒屋、土曜日の昼にはランチ営業を行い、アジア料理や季節のおばんざい、奈良のお酒などを提供しています。将来的には、こども食堂なども実施できればと考えています。

奈良と大阪を結ぶ暗越奈良街道沿いにある生駒市小瀬町。江戸時代には宿場町として栄えたこの場所に2025年4月にオープンしたのが、「ゲストハウス natomi 宿」です。生駒市が空き家の地域での活用を支援するため取り組む、貸したい人と借りたい人の想いをつなぐプロジェクト「恋文不動産」。このプロジェクトを通じてマッチングが成功し活用につながった初めての事例です。長い時を経て、この地域に新たな宿泊施設が誕生し、旅人や地域の方の交流の場となっています。

## 20年来の夢がカタチに

私たち姉妹は大和郡山市生まれで、私(上津原さん)は結婚を機に生駒市に住み始めました。妹(江波さん)は大阪で生活しています。20代の頃に姉妹で初めてタイへ旅行して以来、アジアの魅力にはまり度々訪れていました。一般的なホテルに泊まるのではなく、地元の方やいろんな国の旅行者と交流することができるゲストハウスに好んで泊まり、「いつかは姉妹でゲストハウスを開業してみたいね」と話していました。お互いに結婚して子育てをしている間はなかなか旅行することが難しく、もし開業するとしてもリタイアしてからだろうと思っていましたが、生駒市の広報紙で「恋文不動産」の物件見学会への参加者募集案内をたまたま見つけて、気軽な気持ちで参加してみ



ゲストハウス natomi 宿  
江波美緒さん(左)、上津原奈緒さん(右)

ました。  
私たちがゲストハウスを開業するにあたっては、立地の条件が1つだけありました。それは交通の便が

## 旅人や地域の方の交流の場として

リノベーションにあたっては、建築家の奥田達郎さん(兵庫県宝塚市)にアドバイスをお願いしました。奥田さんは、まちの雰囲気にあった形でのリノベーションを大切にすることで、マッチングが決まる前から見に来てもらってアイデアをたくさんいただきました。私たちが元々使用していた家具を持ち込んだり、自分たちでDIYもしました。古いものを生かしつつ、現代にあったゲストハウスになっていると思います。海外の方からも気に入ってもらっています。「恋文不動産」は家賃や立地などの条件面だけでな

## 一つひとつ丁寧に、大切な瞬間を届けたい

今回、一大決心でゲストハウスを開業しました。まだオープンして約1年なので、まずは軌道に乗るよう、日々続けていくことを心掛けています。私たちにとっては毎日同じことの繰り返しでも、訪れていただいた方にとっては旅行の思い出の1ページであり、大切な瞬間です。すでにリピーターになっていただいている方もおられますし、「また次も予約したいです」と言ってもらえることが何よりも嬉しいです。毎日新しい気持ちで、一つひとつ丁寧に続けていくことをこれからも大切にしていきたいです。



【生駒市 住宅課 住宅政策係】  
生駒市では、近い将来に急増するであろう空き家の対策に力を入れてきました。「いこま空き家流通促進プラットフォーム」では、不動産流通に関わる専門家の方々に参画いただき、所有者に寄り添い、売却や賃貸を支援してきました。  
こうした中で令和4年度から始まったのが、空き家を貸したい人と借りたい人の想いをつなげるプロジェクト「恋文不動産」です。家賃や立地などの条件だけでなく、お互いの人柄や活用方法を理解したうえで貸し借りすることが特徴で、物件を見ながら家主と交流する物件見学会を開き、物件を気に入った方が活用プランを提出します。その後、活用候補者を決定し、活用プランの実現に向けてブラッシュアップしていき、プレゼンテーションを経て家主が活用者を決定する流れで、マッチング第1号が「natomi宿」です。今後も第2号、第3号のマッチングを支援していきたいと考えています。